

国の水産政策及び予算に関する中央要請活動を実施！！

平成26年7月28日と29日の両日に、関係省庁と国会議員に対して、国の新たな水産基本計画や道の水産業・漁村振興推進計画第3期計画に即した本道水産業・漁村の振興発展のため、道議会(水産林務委員会 池本委員長、北原副委員長)、道庁(山崎水産林務部長)とともに、関係会員団体(北海道栽培漁業振興公社、北海道海難防止・水難救済センター、北海道漁港漁場協会)が要請活動を行いました。

・農林水産省水産庁では、本川長官へ長官室にて直接要望書を手渡し、道内の現状・課題等を説明し、長官からはトド等海獣対策への取り組みを強化する発言がありました。

・国会議員に対しては、衆議院第1議員会館、第2議員会館及び参議院議員会館の道選出議員ほか、水産関係議員を回り要請を行いました。

特に、平成27年度は近年、海洋環境の変動等により、本道海域において水産資源の多くが減少の一途を辿っており、資源回復が喫緊の課題となっていることから、漁場の環境整備、栽培漁業の推進など、生産振興施策の拡充などを含め、豊かな漁場・環境づくり、トドやアザラシなど有害生物の漁業被害対策の拡充強化について要請しました。

